ドリトルのダウンロード

- 本体パッケージを使うことでドリトルの基本機能を利用できます。
- 拡張パッケージを追加することで周辺装置を利用できます。
- Windows用とMac用はJavaが含まれています。**ファイルサイズが70〜110MB程度あります**ので、教室でインストールする場合は、ダウンロードしておいたファイルを配布することで端末ごとのダウンロードを避けることができます。
- ダウンロードの際、次のような警告画面が出ることがあります。その場合、続けて「ダウンロード」ボタンをクリックするとダウンロードすることができます。

本体パッケージ

v3.2（正式版 2017/12/1）

- 通常はこれらのバージョンをダウンロードしてください。
- 標準機能に対応していますが音楽演奏には対応していません。
- 編集と実行が別ウィンドウ（dolittle.bat）またはタブ切り替え（dolittle_tab.bat）で起動してください。
  - Windows用（約130MB）
    - Windows7(32bit/64bit)、Windows8.1(64bit)、Windows10(64bit)で動作を確認しています。
  - Mac用（約130MB）
    - Mac(10.12 Sierra)で動作を確認しています。
    - dmgに含まれる「Dolittle」を「アプリケーション」にコピーしてください。「アプリケーション」の「Dolittle」をDock（起動メニュー）に登録しておくと便利です。
    - 初めてドリトルを起動したときに、ユーザーごとの「書類」フォルダの下に「Dolittle」というフォルダが作られます。
    - Studuinoなどの外部機器を制御する場合は、事前に管理者権限で次のコマンドを実行しておいてください（sudo mkdir /var/lock、sudo chmod 777 /var/lock）
  - Linux用（約8MB）
    - Ubuntuで動作を確認しています。
    - （dolittle.sh）で起動してください。
  - ラズベリーパイ用（約7MB）
    - Raspbian Jessie(Raspberry Pi2 および3)で動作を確認しています。
    - （sudo dpkg -i dolittle32rp.deb）でインストールするとメニューにドリトルが表示されます。
- 以下は音楽演奏が必要な場合にのみ使用してください（Java6を使用しており、標準機能の一部が使えないことがあります。タブ切り替え（dolittle_tab.bat）で起動してください。
  - Windows用（約104MB）

V3.24（開発版 2019/7/9）

- 開発中の機能が含まれたテスト版です。最新機能が利用できます。
- 統計機能について、下記の追加/変更をおこないました。
  - オンライン版で提供する統計機能との互換性向上を図りました。
  - 四分位数を利用するための命令を追加しました。
  - 度数分布(表) ・ヒストグラムを利用するための命令を追加/更新しました。
  - グラフの軸に関する表現を一部修正しました。

- その他、変更の詳細は履歴をご確認ください。
  - Windows用(64bit)（約117MB）
    - 64bit版Windowsで利用する場合はこちらをご利用ください
      - Windows7(64bit)、Windows10(64bit)で動作を確認しています。
  - Windows用(32bit)（約68MB）
    - 32bit版Windowsで利用する場合はこちらをご利用ください
      - Windows7(32bit)で動作を確認しています。
  - Mac用（約69MB）
    - Mac(macOS 10.14 Mojave)で動作を確認しています。

追加パッケージ

- 機能の詳細はダウンロード後、パッケージ内の「readme.txt」をご覧ください。
  - **ロボット制御ライブラリ**（V1.1 Windows） <2019/10/10 更新>
    - 下記のロボットの制御を実現するためのライブラリです。
      - 株式会社アーテック（Studuino、Studuino Mini
      - 山崎教育システム株式会社/株式会社モノ・グラム：オリジナルプロッチ
    - ご利用の際は、Dolittle V3.23以降を使用してください
    - ロボット制御ライブラリ（マニュアルはこちらから）
  - **micro:bit制御ライブラリ**（V1.0 Windows） <2019/03/19 更新>
    - BBC micro:bitを制御するためのライブラリです。
    - ご利用の際は、Dolittle V3.23以降を使用してください
    - micro:bit制御ライブラリ（マニュアルはこちらから）
  - **MYUロボ制御ライブラリ**（V1.0 Windows）
    - スタジオ ミュウ：マイコンボード（MYUROBO-1A、MYUUSB-1A）に対応しています。
      - MYUロボ制御ライブラリ
  - **ESPr制御ライブラリ**（V0.1 Windows）
    - ESPr Developerに対応しています。本ライブラリはα版です。十分な動作検証は行われていません。
      - ESPr制御ライブラリ

履歴

V3.24

- 統計機能について、下記の追加/変更をおこないました。
  - オンライン版ドリトルで提供する統計機能との互換性向上を図りました。
  - 四分位数を利用するための命令を追加しました。
  - 度数分布(表)・ヒストグラムを利用するための命令を追加/更新しました。
  - グラフの軸に関する表現を一部修正しました。

V3.23

- 図形を動かす処理について実行速度改善（高速化）対応を行いました。
- WindowsのDPI変更に対応しました（64bit版のみ）
- windows64bit版向けについてJAVAのランタイムをOpneJDK11に変更しました。
- 外部機器制御機能を本体から分離しました。（同一機能は追加パッケージとして提供します）

V3.22

- 統計機能を追加しました。

V3.2

- タートルオブジェクトの「変身する」で、これまでのファイル名に加え、日本語表記の別名による指定ができるようにしました。
- ネットワーク通信機能について、相手先IPアドレスの指定を、全角と半角の混合でも記述できるようにしました。
- 画面上のオブジェクトを全て消す命令（画面!消去）を追加しました。
- タートルの「変身する」命令において、画像キャッシュの無効化を選択できるようにしました。

ライセンス

- ドリトルはフリーソフトです。個人または学校などで自由にインストールしてお使いください。使用の許可は不要です。
  - (※)雑誌やWeb等で再配布される場合は、作者(兼宗)まで事前に連絡してください。
- 開発メンバー
  - 開発リーダー: 兼宗進 (大阪電気通信大学) kanemune@gmail.com
  - アドバイザー: 久野靖（電気通信大学）、並木美太郎（東京農工大学）
  - 開発協力: 長慎也（明星大学）、大村基将/島袋舞子/本多佑希/小林史弥/奥本拓哉/林康平（大阪電気通信大学）、白井詩沙香（武庫川女子大学）

From:
https://dolittle.eplang.jp/ - プログラミング言語「ドリトル」

Permanent link:
https://dolittle.eplang.jp/download?rev=1570728023

Last update: **2019/10/11 02:20**